

科目名	野菜		学年	類型・コース	単位数
			3年	総合選択F1・農業(生物と環境)	2単位
学習の目標	野菜が持つそれぞれの特徴を捉え、野菜の生育や生理について理解し、野菜の栽培技術を習得することを目指す。				
教科書	主たる教材：実教出版（株）野菜（農業 311）				
副教材	副教材：なし				
評価	評価法	①授業態度 ②実習プリントの内容 ③提出物の提出状況 ④定期考査 ⑤実技試験 で、評価を行います。			
	評価観点の趣旨	a	知識・技術	野菜の基本的な知識を理解し、野菜の種類によって変わってくる知識を応用的に考え直す能力を身に付ける。また、季節に合わせて様々な種類の野菜を栽培し、販売できるものを収穫する技術を身に付ける。	
		b	思考・判断・表現	栽培している野菜の課題を理解し、適切な方法で解決したり、模索したりする能力や技術を身に付ける。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	自分に与えられた範囲だけの実習に限らず、班員とコミュニケーションを取りながら、考えて実習に臨むことができる。また、疑問に思ったことや課題に感じたことをノートに書きとめ、それを解決することができる。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。				

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	果実を利用する野菜の栽培	苗の生産について知識や技術を習得し、理解する。 夏野菜苗の栽培・販売	定期考査 実技試験 実習プリント	実技試験 授業態度 実習プリント	授業態度 実習プリント 提出物
	5月	8	果実を利用する野菜の栽培	果実を利用する野菜の栽培について知識や技術を習得し、理解する。夏野菜の栽培・販売			
	6月	8	果実を利用する野菜の栽培	果実を利用する野菜の栽培について知識や技術を習得し、理解する。夏野菜の栽培・販売			
	7月	4	果実を利用する野菜の栽培	果実を利用する野菜の栽培について知識や技術を習得し、理解する。夏野菜の栽培・販売			
夏休み							
2学期	9月	8	葉や花茎を利用する野菜の栽培	葉や花茎を利用する野菜の栽培について知識や技術を習得し、理解する。秋冬野菜の栽培・販売	定期考査 実技試験 実習プリント	実技試験 授業態度 実習プリント	授業態度 実習プリント 提出物
	10月	8	葉や花茎を利用する野菜の栽培	葉や花茎を利用する野菜の栽培について知識や技術を習得し、理解する。秋冬野菜の栽培・販売			
	11月	8	葉や花茎を利用する野菜の栽培	葉や花茎を利用する野菜の栽培について知識や技術を習得し、理解する。秋冬野菜の栽培・販売			
	12月	4	根を利用する野菜の栽培	根を利用する野菜の栽培について知識や技術を習得し、理解する。秋冬野菜の栽培・販売			
冬休み							
3学期	1月	6	根を利用する野菜の栽培	根を利用する野菜の栽培について知識や技術を習得し、理解する。秋冬野菜の栽培・販売	定期考査 実技試験 実習プリント	実技試験 授業態度 実習プリント	授業態度 実習プリント 提出物
	2月						
	3月						

担当者からのメッセージ（学習方法など）

座学と実習を合わせて行う。定期考査だけでなく、実習中の態度や実習プリント等の提出物も評価に含まれる。